

去った十月一日(日)厳修の「じんぐうじまつり」及び「観音祭」に、参拝・来場頂きました皆様、誠にありがとうございます。

今年から、出店や舞台出演を再開し、往年の形に戻すことが出来て、一安心しております。まだまだ、コロナ前の賑わいには程遠い状況でしたので、ここからまた多くの人にお寺や仏教の素晴らしさ・楽しさを伝えられるお祭りにしていきたいと思います。どうぞ、これからも「じんぐうじまつり」及び「観音祭」を宜しくお願い致します。

真言宗立教開宗千二百年慶讃法要 良啓

去った十月八日〜十四日の期間、本山東寺(京都)にて「真言宗立教開宗千二百年慶讃法要」が厳かに開催されました。

東寺は、平安京造営時、最初に計画された官寺(公営寺院)です。ところが計画が頓挫し、未完の状態で三十年近く放置されていきました。そこで、八百二十三年、嵯峨天皇よりお大師様に東寺が下賜されました。そこで、お大師様は、官寺↓真言宗専門に経営変更を英断します。ここに現在まで続く真言宗が産声を上げました。

今回、その記念行事として法要や特別拝観が行われ、全国から僧侶と檀信徒が東寺に集まりました。

法要では、延べ百名程度の僧侶が日替わりで勤行し、裏千家家元のご献茶や新進気鋭の小松美羽さんのネクスト曼茶羅奉納など伝統の中にも新しい風が感じられる法要でした。

また、密教美術の宝庫と呼ばれる程、東寺には国宝や重要文化財が多数あり、通常は非公開や展示してないお堂や仏像が特別に公開されていました。今回、全国から参拝にいられた檀信徒の皆様を

これらのお堂に案内しました。仏像やお堂の説明だけでなく、歴史的背景、お大師様の心情など、真言宗や東寺を身近に感じて頂ける法話を心掛け、喜んで頂けたと思います。最後に百年に一度の大法要にこの様に立ち会えた法縁に感謝です。



庭のトカゲ

寺務員 宮城

沖縄も段々と気温が下がり、やっと過ぎやすい季節になってきました。皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

最近寺の庭の掃除をしていると、草むらからザワザワッと気配が、何だろうと覗いてみました。最初は草むらに同化していて気が付かなかったのですが、よく目を凝らして見ると、緑色のトカゲが、私は昆虫類や爬虫類が苦手でもちろんトカゲも苦手だったので、見つけたときは、とてもびっくりしました。しかもそのトカゲが私の方に四足歩行で向かってきたので、私は怖くて逃げました。そしてその日から掃除するたびに毎回そのトカゲをよく見るようになりました。初めは怖かったのですが、毎回見ると、段々慣れてきて、私自身そのトカゲに興味が湧いてきました。そこでそのトカゲについて調べてみると、このトカゲ、「オキナワキノボリトカゲ」という種類で、沖縄県と奄美大島のみで生息する日本の固有種で、絶滅危惧Ⅱ類に指定されているそうです。貴重な生物だと知り私は驚きました。皆様、お寺にお参りに来た際には、このオキナワキノボリトカゲを是非お探ししてみてください。

また、このトカゲは寒さに弱く、冬眠をして越冬するらしいです。なので、寒くなる前にお参りに来ることをお勧めします。

